事業概況（グローバル）





国際事業本部では、当社グループの持続的な成長に向けた重要な成長領域として東南アジアを位置づけ、2020年のHa Tay Pharmaceutical Joint Stock Company（Hataphar社）との資本提携を起点に、新工場の竣工や連結子会社化を通じて、ベトナムでの事業基盤を強化してきました。さらに、2025年のフィリピンMedChoice社への出資により、東南アジアにおける事業機会へのアクセスを広げるなど、将来の事業拡大に向けた基盤を着実に拡充しています。当地域は、経済成長と人口増加を背景に医薬品市場の拡大が続いており、当社グループにとって中長期的な成長余地の大きい市場と捉えています。

中期経営計画2028では、国際事業本部が推進するグローバル事業を、当社グループの成長を支える5本の柱の一つとして位置づけています。これまで培ってきた事業基盤を活かし、東南アジアにおける事業価値の創出を一層加速していきます。こうした方針のもと、各拠点の機能を活かしながら、東南アジア全体で事業を発展させる段階を迎えています。今後は、既存拠点の機能強化に加え、東南アジア域内での新たな事業基盤づくりも視野に入れ、製品展開、供給体制、パートナーシップを地域全体へと広げていきます。

当面は、事業基盤と戦略的パートナーを有するベトナム・フィリピンを重点市場としつつ、周辺市場への展開可能性も見据え、各市場のニーズや規制環境、流通構造を的確に捉えながら、製品の導入・展開や供給体制の構築を進めます。なかでもベトナムでは、製品ポートフォリオの整備と営業・販売体制の強化を一体的に進めるとともに、Hataphar社のPIC/S GMP対応の新工場を活用しながら、市場ニーズに応じた事業展開を加速していきます。同工場では、当社グループが日本国内で培ってきた製造・品質保証のノウハウを活かし、品質管理体制の強化を図ることで、現地における安定供給と品質確保の両立を目指します。

今後は、各市場のニーズに応じた製品ポートフォリオを充実させるとともに、現地パートナーとの協働を通じて、東南アジア域内での信頼とプレゼンスを高めていきます。国際事業本部は、各市場の実情に即した取り組みを着実に積み重ねることで、中期経営計画2028の達成に貢献するとともに、東南アジアにおける持続的な成長基盤の構築を通じて、グループ全体の企業価値向上に取り組んでまいります。

2026年4月、Hataphar社の新中期経営計画2030が始動しました。

新中期経営計画2030では「顧客に信頼され選ばれるヘルスケアカンパニー」をビジョンとして掲げています。これまでの60年間がそうであったように、これからも必要とされる製品を提供し、かつ選ばれる企業でありたいという従業員一人ひとりの想いを表しています。そして、このビジョンを実現するために以下3つの行動指針を定めました。

・品質：製品の品質にコミットします
・倫理：患者さんの健康と安全を最優先に考え行動します
・敬意：すべてのステークホルダーに敬意をもって接します

品質・倫理・敬意をすべての事業活動の基盤と位置づけています。

私たちのビジネスは、多様なステークホルダーとの関係のなかで成り立っています。相手にとっての価値を常に意識し、長期的な信頼関係の構築に努めていきます。

次に新中期経営計画2030の内容について簡単にご紹介します。最も注力する取り組みとしては、製品ポートフォリオの拡充と市場開拓の2つです。

製品ポートフォリオの拡充については、Hataphar社が強みを持つ領域に加え、あすか製薬とのシナジー効果が見込める領域を戦略領域として設定しました。具体的には、感染症、循環器・代謝領域に加え、産婦人科および泌尿器領域での製品開発を進め、領域基盤構築・強化を目指します。また、従来からのジェネリック医薬品およびOTC医薬品に加え、新薬などの導入・開発についても果敢に挑戦していく予定です。

市場開拓については、まずベトナム中部・南部市場を深耕し、中部・南部エリアが占める売上比率をこれまでの20%から40%程度まで高めていく計画です。また、海外市場についても、東南アジア諸国、中東諸国への輸出に加え、欧州・日本など規制水準の高い市場（SRA）への輸出実現にチャレンジしていきます。

イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ

事業概況

市場環境

- ASEANの医薬品市場は急速に拡大しており、東南アジアの医薬・ヘルスケア市場は世界平均を上回る成長が期待され、中間層の拡大と高齢化を背景に需要拡大が見込まれる。特に慢性疾患やがん領域における医療ニーズの拡大が見込まれる。
- 日系企業の進出や提携実績があるベトナムおよびフィリピンの医薬品市場は、今後も市場規模の拡大が見込まれている。
- ASEANでは、ローカル企業とのM&Aや提携を通じた市場参入や事業拡大が活発化している。ゼロから拠点を立ち上げるリスクを避け、すでに現地での認可や病院ネットワークを持つローカル製薬会社を買収・合弁することで、短期間で市場参入を実現する事例が増えてきた。

リスク

- ベトナムおよびフィリピンは、東南アジアのなかでもGDP*水準が高く、今後の経済成長が期待される一方、ヘルスケアインフラの整備が課題となっている。
- 規制プロセスの複雑さ：ASEAN内での規制調和（標準化）の試みはあるものの、実際の医薬品登録や認可プロセスは国ごとに大きく異なり、実務運用に不透明な面もあり、手続きに長期間を要する。
- 現地のジェネリックメーカーやローカル製薬企業の台頭により競争が激化している。

＊GDP: Gross Domestic Product

機会

1.「先進国品質（日本品質）」への強い信頼とプレミアム需要

- 経済的に豊かになった中間層や富裕層の間では、高品質で安全性・有効性が担保された医薬品への需要が高まっている。
- 有効性や安全性が担保された「先進国品質の医薬品（革新的な新薬、高品質なブランド後発医薬品：branded generics）」に対する指名買いや、多少高くても安心を買うプレミアム需要が確実に拡大している。

2. 国際水準の「GMP認証」を武器にした市場のゲームチェンジ

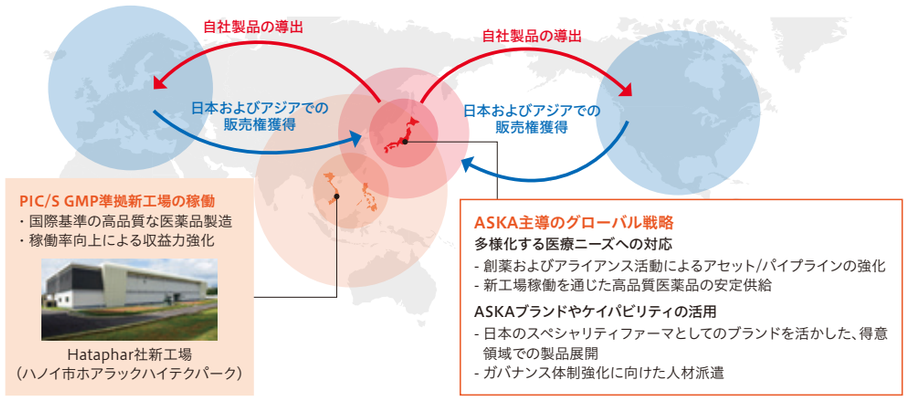
- ベトナムやフィリピン政府は、医薬品の安全性を高めるため、製造設備に対して国際基準であるPIC/S GMPなどの厳格な品質管理基準の導入・厳格化を推進している。日系企業が得意とする「厳格なGMPをクリアした高度な製造技術や品質管理ノウハウ」は、現地企業に対する有力な差別化要素となり、政府入札や民間病院へのアプローチで非常に有利に働く。

3. 慢性疾患・生活習慣病に対するニーズ

- 経済成長に伴う生活習慣病（糖尿病、高血圧など）の急増に対し、治療薬や専門治療へのニーズが拡大している。

中期経営計画2028における戦略

我々は中期経営計画2028のもと、東南アジア域内における事業基盤の拡充と、将来の成長に資する事業機会の創出に取り組んでいます。医薬品需要の拡大が見込まれるベトナム・フィリピンでの事業展開を当面の重点領域としつつ、周辺市場への展開可能性も見据え、各市場のニーズや規制環境、流通構造を的確に捉えながら、製品の導出入や供給体制の整備を着実に進めています。



当社グループにおいて、ベトナム子会社Hataphar社は重要な現地基盤の一つです。同社ではPIC/S GMP対応の新工場が稼働し、品質・製造面での対応力が着実に高まりつつあります。新工場を今後の事業展開を支える有効な選択肢の一つとして活用し、現地の販売ネットワークや製造機能に、日本で培った品質管理・製品評価の知見を組み合わせることで、安定的かつ信頼性の高い事業運営につなげてまいります。

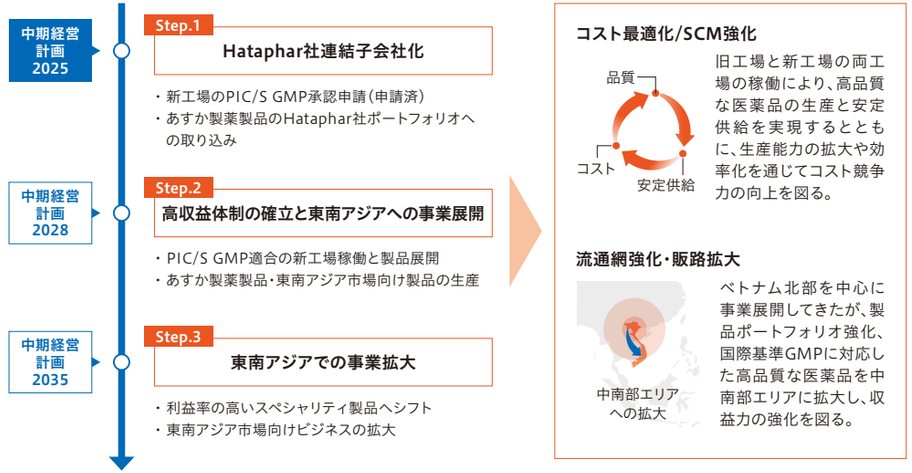
今後は、短期的な売上拡大にとどまることなく、各市場で真に求められる製品を見極め、導入・導出の可能性を一つひとつ具体化してまいります。まずは製品を中心とした実効性ある取り組みを積み重ね、東南アジア域内における信頼の獲得とプレゼンスの向上を図ることで、当社グループの中長期的な成長に貢献してまいります。

Hataphar社における戦略

中期経営計画2028では、医薬品企業として持続的な成長を支える事業基盤の強化を進めていきます。具体的には、有効性・安全性が担保された医薬品を適正価格かつ安定して提供できるよう、開発、製造、営業の各機能強化に取り組む方針です。

製造機能においては、品質、コスト、安定供給の観点での改善・強化策を実施していきます。2026年4月から旧工場と新工場の両拠点を管掌する担当役員を置くとともに、生産拠点間の連携強化を目的としてサプライチェーンマネジメント（SCM）部を新設しました。収益管理の高度化を目的として標準原価計算方式を導入するとともに、生産計画の運用定着および改善活動に注力しています。

営業機能においては、2028年1月の関連会社（Hataphar Health社）の営業機能統合に向け、顧客管理・営業基盤の再構築を進めています。これまでの委託販売から自社販売へとビジネスモデルを転換し、新製品の市場投入を機に、組織体制および営業活動の強化を進めていきます。



イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ